

札幌医科大学医学教育プログラム評価
(医学教育分野別評価基準日本版「領域5 教員」関連)

外部評価結果報告書



令和7年6月

札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会

目次

I	はじめに	1
II	外部評価の実施について	
	1. 外部評価の実施概要	2
	2. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会名簿	8
	3. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程	9
	4. 札幌医科大学医学部教育プログラムの PDCA サイクル図	11
III	外部評価結果	
	評価テーマ（重点課題）：教員の業績評価制度に関する評価	12
	1. 医学部教員の評価項目・標準的エフォート比率等について	12
	2. 教員の業績評価制度の検証結果について	14
	3. 制度全体及び今後の課題等（インセンティブ付与等）について	15
	評価テーマ（重点課題）以外に関する評価	17
	その他（評価全般に対するご意見やご提案等）	17

I はじめに

札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会は、学外委員と学内委員で構成され、学外委員による外部評価の方法や基準などの方針は教育プログラム評価委員会が定め、本学が行う自己点検・評価（内部評価）に対する外部評価を実施しております。

このたび、令和6（2024）年度の外部評価結果を取りまとめることができましたので、ここに報告いたします。

本学独自の外部評価は、令和元（2019）年度に導入され、今回で4回目の実施となります。前回に引き続き、大学全体の質保証活動の一環として、より焦点を絞ったテーマ設定のもとで自己点検・評価を行う方針に則り、令和6年度は「教員の業績評価の在り方」を主題として取り上げました。

教育・研究・診療という多様な活動を担う教員に対し、公平かつ透明性のある評価制度をどのように構築・運用していくかという点について、内部質保証委員会や教育プログラム評価委員会において多面的な検討を行うとともに、学外委員の皆様からも多くのご示唆と建設的なご意見をいただきました。これらは今後の制度設計に大いに資するものであり、本学にとって極めて有意義な外部評価となりました。

この場をお借りして、貴重なご助言をお寄せいただいた学外委員の皆様に改めて深く感謝申し上げます。今後も本学の教育の質の向上と大学全体の継続的改善に向けて、真摯に取り組んでまいります。

令和7（2025）年6月

医学部長 齋藤 豪

Ⅱ 外部評価の実施について

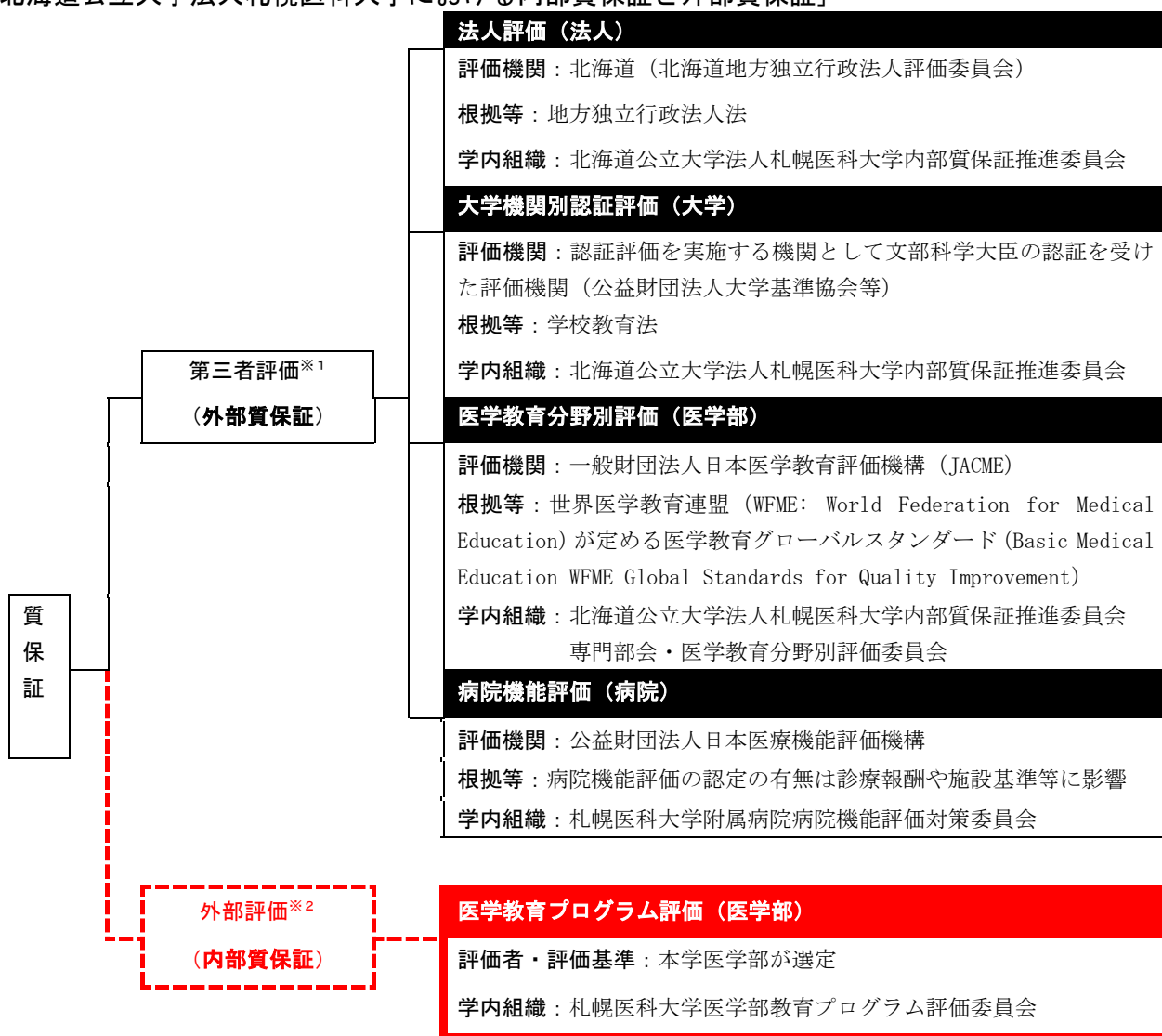
1. 外部評価の実施概要

(1) 目的と位置づけ

本学医学部医学科では、一般財団法人日本医学教育評価機構（以下「JACME」）による医学教育分野別評価受審を契機として、外部質保証活動としての第三者評価のほか、内部質保証活動（大学が自ら行う質の改善に向けた組織的な活動）として、本学独自の外部評価（札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程に基づく「医学教育プログラム評価」）を令和元（2019）年度に導入し、本学医学部医学科が行う自己点検・評価結果の妥当性と客観性を担保し、本学医学部医学科の教育プログラムの質の改善及び向上を図ることとしている。

医学部教育プログラム評価委員会は、学外委員と学内委員で構成し、学外委員による外部評価の方法や基準などの方針は、医学部教育プログラム評価委員会が定め、本学が行う自己点検・評価（内部評価）に対する外部評価（Step1「書面審査」、Step2「対面調査」、Step3「評価結果の確定」）を実施する。

[北海道公立大学法人札幌医科大学における内部質保証と外部質保証]



※1 「第三者評価」とは、評価対象機関（大学）とは独立した第三者組織によって選定された評価者・評価項目等によって行われる評価。

※2「外部評価」とは、学外の評価者によって行われる評価。「第三者評価」との違いとして、評価者及び評価項目が評価対象機関（大学）によって選定されるもの。北海道公立大学法人札幌医科大学の第3期中期計画に掲げる「PDCA サイクルを活用した自己点検・評価及び法人評価・認証評価の効果的かつ効率的な実施に向けて現行の評価体制の見直しによる内部質保証の充実を図るとともに、外部評価の導入等を行い、評価結果を教育研究活動や大学運営の改善等に反映させる。」に基づき、医学教育プログラム（医学部医学科の教育課程）レベルの内部質保証として位置づけている。

（2）実施方法

令和6（2024）年度医学教育プログラム評価は、下記のとおり実施する。

① 評価テーマ（重点課題）

令和2（2020）年度 本学独自の外部評価指摘事項のうち、JACME の「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36」領域5（B5.2.1、B5.2.2）に該当する「教員の業績評価制度」とする。

② 自己点検評価の実施方法

任期制・業績評価制度検討WGで実施した教員の業績評価制度の検証と、検証結果に基づいて作成した報告資料を自己点検評価とする。

③ 外部評価の実施方法

外部評価は、自己点検評価書による「書類審査」、大学関係者と質疑応答等を行う「対面調査」、最終的な「評価結果の確定」の3つの過程により実施する。

- ✓ 「書類審査」：学外委員は、本学が作成した「自己点検評価書」「改善状況報告書」「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36」に基づく札幌医科大学医学部医学科年次報告書」「札幌医科大学教学 IR データブック 2023」を参照し、「外部評価表」を作成する。
- ✓ 「対面調査」：学外委員から提出された「外部評価表」を基に、質疑応答及び意見交換を行う。対面調査での聞き取りを総合し、外部評価表を取り纏める。
- ✓ 「評価結果の確定」：対面調査後に提出された外部評価表を外部評価結果報告書として取りまとめ、公表する。

④ 外部評価結果を踏まえた改善

外部評価結果に基づき改善が必要と認められるものについては、その改善に努める。

⑤ 様式

外部評価表	自己点検評価書に関して、「優れている点」「改善を要する点」を外部評価者が記載する。
自己点検評価書	任期制・業績評価制度検討WGが作成した報告資料及び関連資料。
改善状況報告書	前回外部評価結果に対して改善状況を集約した「改善状況報告書」。
医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36 に基づく札幌医科大学医学部医学科年次報告書	JACME から指摘された事項を中心に、改善した項目と内容、今後の改善計画をまとめた年次報告書（認定を受けた大学が毎年8月末日までに JACME に提出するもの）。
教学 IR データブック	医療人育成センター統合 IR 部門が作成する「札幌医科大学教学 IR データブック」（本学 HP 公開中）。

2. 実施スケジュール

日程	内容
令和7年4月22日	第9回 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会
令和7年4月25日 ～5月16日	令和6（2024）年度 外部評価 Step1「書類審査」

令和7年6月2日	第10回 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会
	令和6（2024）年度 外部評価 Step2「対面調査」
令和7年6月20日	令和6（2024）年度 外部評価 Step3「評価結果の確定」

外部評価表（様式）

令和 6（2024）年度 札幌医科大学 医学教育プログラム評価

外部評価表（様式）

（1）評価テーマ（重点課題）：**教員の業績評価制度**に関する評価 ※「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36」領域 5：B5. 2.1、B5. 2.2

〔参照資料：「自己点検評価書」〕

I 医学部教員の評価項目・標準的エフォート比率等について（自己点検評価書 p.11「2. 業績評価制度について」、p.15 別紙1）

優れている点	改善を要する点	その他

II 教員の業績評価制度の検証結果について（自己点検評価書 p.11「3. 任期制・業績評価制度検討WGによる検証について」、p.29 別紙4）

優れている点	改善を要する点	その他

III 制度全体及び今後の課題等（インセンティブ付与等）について（自己点検評価書 p.11「3. 任期制・業績評価制度検討WGによる検証について」）

優れている点	改善を要する点	その他

（2）評価テーマ（重点課題）以外に関する評価（ご意見等ございましたら、記載願います）

〔参照資料：「改善状況報告書」「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36」に基づく札幌医科大学医学部医学科年次報告書「教学 1R データブック」〕

（3）その他（評価全般に対するご意見やご提案等ございましたら、記載願います）

自己点検評価書

札幌医科大学医学教育プログラム評価
(医学教育分野別評価基準日本版「領域5 教員」関連)

自己点検評価書



令和7年4月
札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会

目次

I 外部評価の実施について	
1. 外部評価の実施概要	1
2. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会名簿	4
3. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程	5
4. 札幌医科大学医学部教育プログラムの PDCA サイクル図	7
II 自己点検評価	
1. 自己点検評価(教員の業績評価制度)の概要 について	9
2. 添付資料(別紙1～5)	13

改善状況報告書

令和5(2023)年度
札幌医科大学医学教育プログラム評価

改善状況報告書

目次

1. 進捗状況等に関する調査(入学試験委員会)	1
2. 進捗状況等に関する調査(医学部長)	15
3. 進捗状況等に関する調査(医学部教務委員会)	21

医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36 に基づく札幌医科大学医学部医学科年次報告書

医学教育分野別評価基準日本版Ver.2.36に基づく

札幌医科大学医学部医学科

年次報告書

2024(令和6)年度

医学教育分野別評価の受審 2021(令和3)年度
受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.33
本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36



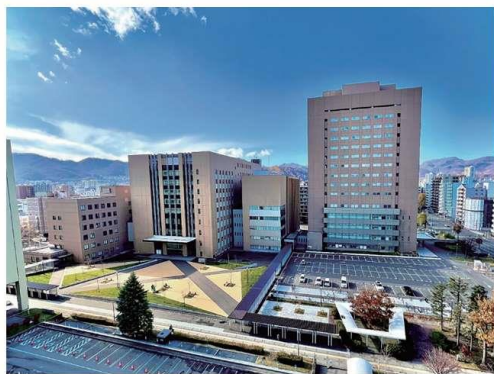
2024(令和6)年8月

北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

はじめに	1
1. 使命と学修成果	2
1.1 使命	2
1.2 大学の自律性および教育・研究の自由	5
1.3 学修成果	6
1.4 使命と成果策定への参画	9
2. 教育プログラム	10
2.1 教育プログラムの構成	11
2.2 科学的方法	13
2.3 基礎医学	14
2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学	15
2.5 臨床医学と技能	17
2.6 教育プログラムの構造、構成と教育期間	19
2.7 教育プログラム管理	21
2.8 臨床実践と医療制度の連携	22
3. 学生の評価	23
3.1 評価方法	24
3.2 評価と学修との関連	26
4. 学生	28
4.1 入学方針と入学選抜	28
4.2 学生の受け入れ	30
4.3 学生のカウンセリングと支援	32
4.4 学生の参加	33
5. 教員	35
5.1 募集と選抜方針	35
5.2 教員の活動と能力開発	37
6. 教育資源	39
6.1 施設・設備	39
6.2 臨床実習の資源	41
6.3 情報通信技術	43
6.4 医学研究と学識	44
6.5 教育専門家	46
6.6 教育の交流	47
7. 教育プログラム評価	49
7.1 教育プログラムのモニタと評価	49
7.2 教員と学生からのフィードバック	52
7.3 学生と卒業生の実績	53
7.4 教育の関係者の関与	55
8. 統括および管理運営	57
8.1 統括	57
8.2 教職における執行部	58
8.3 教育予算と資源配分	60
8.4 事務と運営	61
8.5 保健医療部門との交流	62
9. 継続的改良	64

札幌医科大学教学 IR データブック 2023



札幌医科大学教学 IR データブック 2023

札幌医科大学医療人育成センター統合 IR 部門

札幌医科大学教学 IR データブック 2023

札幌医科大学医療人育成センター統合 IR 部門

Table of contents

1. 巻頭に寄せて	
2. 教員	
2.1. 性別	
2.1.1. 人数	4.3.1. 人数 17
2.1.2. 女性教員比率	4.3.2. 履修学生比率 18
2.2. 年齢	4.3.3. 合格率 19
2.2.1. 人数	4.4. 共通テスト(センター)
2.2.2. 若手教員比率	4.4.1. 点数
3. 教員学生比(ST 比)	4.4.2. 全国平均点との差
4. 入試	5. 在学生
4.1. 性別ごと	5.1. 在籍人数
4.1.1. 人数	5.2. 女子学生比率
4.1.2. 女子学生比率	5.3. 定員充足率
4.1.3. 合格率	5.4. 留年人数と留年率
4.2. 道内外	5.5. 奨学金等人数と受給率
4.2.1. 人数	5.6. 卒業率
4.2.2. 道内出身者比率	6. 国家試験
4.2.3. 合格率	6.1. 人数
4.3. 履修と既卒	6.1.1. 新卒
	6.1.2. 既卒
	6.1.3. 新卒と既卒の合計
	6.2. 合格率
	6.2.1. 新卒
	6.2.2. 既卒
	6.2.3. 新卒と既卒の合計
	7. 卒業状況 初期研修・就職
	7.1. 両学部
	7.1.1. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 65
	7.1.2. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 66
	7.1.3. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 67
	7.1.4. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 68
	7.1.5. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 69
	7.1.6. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 70
	7.1.7. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 71
	7.1.8. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 72
	7.1.9. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 73
	7.1.10. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 74
	7.1.11. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 75
	7.1.12. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 76
	7.1.13. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 77
	7.1.14. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 78
	7.1.15. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 79
	7.1.16. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 80
	7.1.17. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 81
	7.1.18. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 82
	7.1.19. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 83
	7.1.20. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 84
	7.1.21. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 85
	7.1.22. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 86
	7.1.23. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 87
	7.1.24. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 88
	7.1.25. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 89
	7.1.26. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 90
	7.1.27. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 91
	7.1.28. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 92
	7.1.29. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 93
	7.1.30. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 94
	7.1.31. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 95
	7.1.32. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 96
	7.1.33. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 97
	7.1.34. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 98
	7.1.35. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 99
	7.1.36. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 100
	7.1.37. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 101
	7.1.38. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 102
	7.1.39. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 103
	7.1.40. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 104
	7.1.41. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 105
	7.1.42. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 106
	7.1.43. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 107
	7.1.44. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 108
	7.1.45. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 109
	7.1.46. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 110
	7.1.47. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 111
	7.1.48. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 112
	7.1.49. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 113
	7.1.50. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 114
	7.1.51. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 115
	7.1.52. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 116
	7.1.53. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 117
	7.1.54. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 118
	7.1.55. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 119
	7.1.56. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 120
	7.1.57. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 121
	7.1.58. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 122
	7.1.59. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 123
	7.1.60. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 124
	7.1.61. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 125
	7.1.62. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 126
	7.1.63. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 127
	7.1.64. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 128
	7.1.65. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 129
	7.1.66. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 130
	7.1.67. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 131
	7.1.68. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 132
	7.1.69. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 133
	7.1.70. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 134
	7.1.71. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 135
	7.1.72. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 136
	7.1.73. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 137
	7.1.74. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 138
	7.1.75. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 139
	7.1.76. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 140
	7.1.77. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 141
	7.1.78. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 142
	7.1.79. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 143
	7.1.80. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 144
	7.1.81. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 145
	7.1.82. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 146
	7.1.83. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 147
	7.1.84. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 148
	7.1.85. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 149
	7.1.86. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 150
	7.1.87. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 151
	7.1.88. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 152
	7.1.89. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 153
	7.1.90. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 154
	7.1.91. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 155
	7.1.92. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 156
	7.1.93. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 157
	7.1.94. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 158
	7.1.95. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 159
	7.1.96. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 160
	7.1.97. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 161
	7.1.98. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 162
	7.1.99. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 163
	7.1.100. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 164
	7.1.101. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 165
	7.1.102. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 166
	7.1.103. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 167
	7.1.104. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 168
	7.1.105. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 169
	7.1.106. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 170
	7.1.107. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 171
	7.1.108. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 172
	7.1.109. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 173
	7.1.110. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 174
	7.1.111. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 175
	7.1.112. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 176
	7.1.113. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 177
	7.1.114. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 178
	7.1.115. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 179
	7.1.116. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 180
	7.1.117. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 181
	7.1.118. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 182
	7.1.119. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 183
	7.1.120. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 184
	7.1.121. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 185
	7.1.122. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 186
	7.1.123. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 187
	7.1.124. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 188
	7.1.125. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 189
	7.1.126. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 190
	7.1.127. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 191
	7.1.128. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 192
	7.1.129. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 193
	7.1.130. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 194
	7.1.131. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 195
	7.1.132. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 196
	7.1.133. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 197
	7.1.134. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 198
	7.1.135. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 199
	7.1.136. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 200
	7.1.137. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 201
	7.1.138. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 202
	7.1.139. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 203
	7.1.140. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 204
	7.1.141. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 205
	7.1.142. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 206
	7.1.143. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 207
	7.1.144. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 208
	7.1.145. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 209
	7.1.146. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 210
	7.1.147. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 211
	7.1.148. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 212
	7.1.149. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 213
	7.1.150. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 214
	7.1.151. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 215
	7.1.152. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 216
	7.1.153. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 217
	7.1.154. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 218
	7.1.155. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 219
	7.1.156. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 220
	7.1.157. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 221
	7.1.158. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 222
	7.1.159. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 223
	7.1.160. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 224
	7.1.161. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 225
	7.1.162. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 226
	7.1.163. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 227
	7.1.164. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 228
	7.1.165. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 229
	7.1.166. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 230
	7.1.167. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 231
	7.1.168. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 232
	7.1.169. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 233
	7.1.170. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 234
	7.1.171. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 235
	7.1.172. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 236
	7.1.173. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 237
	7.1.174. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 238
	7.1.175. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 239
	7.1.176. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 240
	7.1.177. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 241
	7.1.178. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 242
	7.1.179. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 243
	7.1.180. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 244
	7.1.181. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 245
	7.1.182. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 246
	7.1.183. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 247
	7.1.184. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 248
	7.1.185. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 249
	7.1.186. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 250
	7.1.187. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 251
	7.1.188. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 252
	7.1.189. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 253
	7.1.190. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 254
	7.1.191. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 255
	7.1.192. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 256
	7.1.193. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 257
	7.1.194. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 258
	7.1.195. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 259
	7.1.196. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 260
	7.1.197. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 261
	7.1.198. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 262
	7.1.199. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 263
	7.1.200. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 264
	7.1.201. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 265
	7.1.202. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 266
	7.1.203. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 267
	7.1.204. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 268
	7.1.205. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 269
	7.1.206. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 270
	7.1.207. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 271
	7.1.208. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 272
	7.1.209. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 273
	7.1.210. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 274
	7.1.211. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 275
	7.1.212. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 276
	7.1.213. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 277
	7.1.214. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 278
	7.1.215. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 279
	7.1.216. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 280
	7.1.217. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 281
	7.1.218. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 282
	7.1.219. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 283
	7.1.220. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 284
	7.1.221. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 285
	7.1.222. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 286
	7.1.223. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 287
	7.1.224. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 288
	7.1.225. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 289
	7.1.226. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 290
	7.1.227. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 291
	7.1.228. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 292
	7.1.229. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 293
	7.1.230. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 294
	7.1.231. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 295
	7.1.232. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 296
	7.1.233. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 297
	7.1.234. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 298
	7.1.235. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 299
	7.1.236. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 300
	7.1.237. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 301
	7.1.238. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 302
	7.1.239. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 303
	7.1.240. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 304
	7.1.241. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 305
	7.1.242. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 306
	7.1.243. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 307
	7.1.244. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 308
	7.1.245. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 309
	7.1.246. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 310
	7.1.247. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 311
	7.1.248. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 312
	7.1.249. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 313
	7.1.250. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 314
	7.1.251. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 315
	7.1.252. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 316
	7.1.253. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 317
	7.1.254. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 318
	7.1.255. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 319
	7.1.256. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 320
	7.1.257. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 321
	7.1.258. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 322
	7.1.259. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 323
	7.1.260. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 324
	7.1.261. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 325
	7.1.262. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 326
	7.1.263. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 327
	7.1.264. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 328
	7.1.265. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 329
	7.1.266. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 330
	7.1.267. 卒業生(他者評価) アンケート調査結果 331
	7.1.268. 卒業生(自己評価) アンケート調査結果 332
	7.1.269

2. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会名簿

学外構成員

	所属名	役職	氏名	備考
	札幌医科大学医学部同窓会 (社会医療法人 札幌清田病院 理事長)	会長	西里 卓次	規程第3条第1項第3号 札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員 ※札幌医科大学医学部同窓会の関係者
委員長	札幌医科大学後援会 (医療法人社団 札幌道都病院・理事長・院長)	会長	秦 史壯	規程第3条第1項第3号 札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員 ※札幌医科大学後援会の関係者
	社会医療法人 製鉄記念 室蘭病院	理事長	松木 高雪	規程第3条第1項第3号 札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員 ※学外臨床実習先及び卒後臨床研修病院の関係者
	国立大学法人旭川医科大学 教育センター	教授	佐藤 伸之	規程第3条第1項第3号 札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員 ※高等学校教育・大学教育・医学教育の学外有識者

学内構成員

	所属名	役職	氏名	備考
副委員長	医学部臨床医学部門 産婦人科学講座	教授	齋藤 豪	規程第3条第1項第1号 医学部長
	医学部基礎医学部門 社会医学講座 公衆衛生学分野	教授	大西 浩文	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会長
	医学部基礎医学部門 医療統計・データ管理学講座	教授	樋之津 史郎	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部臨床医学部門 総合診療医学講座	准教授	白鳥 正典	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医療人育成センター 教養教育研究部門物理学	教授	鷲見 紋子	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部臨床医学部門 内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学分野	教授	千葉 弘文	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部臨床医学部門 内科学講座 神経内科学分野	教授	久原 真	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部臨床医学部門 内科学講座 循環病態内科学分野	教授	古橋 真人	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部基礎医学部門 感染学講座 微生物学分野	教授	横田 伸一	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員
	医学部基礎医学部門 解剖学講座 機能構造学分野	教授	永石 歓和	規程第3条第1項第2号 札幌医科大学医学教育分野別評価委員会 教育プログラム評価検討部会 部会員

学生委員

	所属名	役職	備考
	医学部医学科第5学年	学生	規程第3条第1項第4号 ※学生委員
	医学部医学科第4学年	学生	規程第3条第1項第4号 ※学生委員

3. 札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程

札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程(令和元年9月27日規程第16号)

(設置)

第1条 札幌医科大学医学部医学科の教育プログラムに関して、本学医学部が実施する自己点検・評価結果の妥当性と客観性を担保し、本学医学部医学科の教育の内部質保証に資するため、外部委員及び在学生の参加する評価(以下「医学教育プログラム評価」という。)を行うことを目的とし、札幌医科大学医学部教育プログラム評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、医学教育プログラム評価に関する事項を審議し、本学が実施する自己点検・評価の結果について、検証及び評価を行い、本学の教育研究等の質の向上に資する提言を行うものとする。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 医学部長
 - (2) 本学医学部医学科の教育プログラムに関わる主要な学内関係者 若干名
 - (3) 札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会規程(平成30年規程第44号)第2条第1項第3号から第7号までの学外委員 若干名
 - (4) 本学医学部の学生 2名
 - (5) その他医学部長が必要と認めた者 若干名
- 2 前項第2号、第3号及び第5号までに掲げる委員は、医学部長の推薦に基づき、学長が委嘱し、又は任命する。
- 3 第1項第4号の学生委員は、第4学年及び第5学年から1名ずつ選出し、学長が委嘱し、又は任命する。
- 4 第1項第2号、第3号及び第5号までに掲げる委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 5 第1項第4号の学生委員の任期は1年とし、それぞれの学年に在籍する期間をもって充てる。ただし、再任することを妨げない。
- 6 委員が欠けた場合における補欠の委員及び追加の委員の任期は、前任者又現任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、医学部長が前条第1項第3号に掲げる学外委員から指名し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、医学部長の要請に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。
- 5 医学部長は、委員会の審議結果を学長に報告するものとする。
- 6 学長は、必要に応じて会議に出席し、意見を述べることができる。

(専門部会)

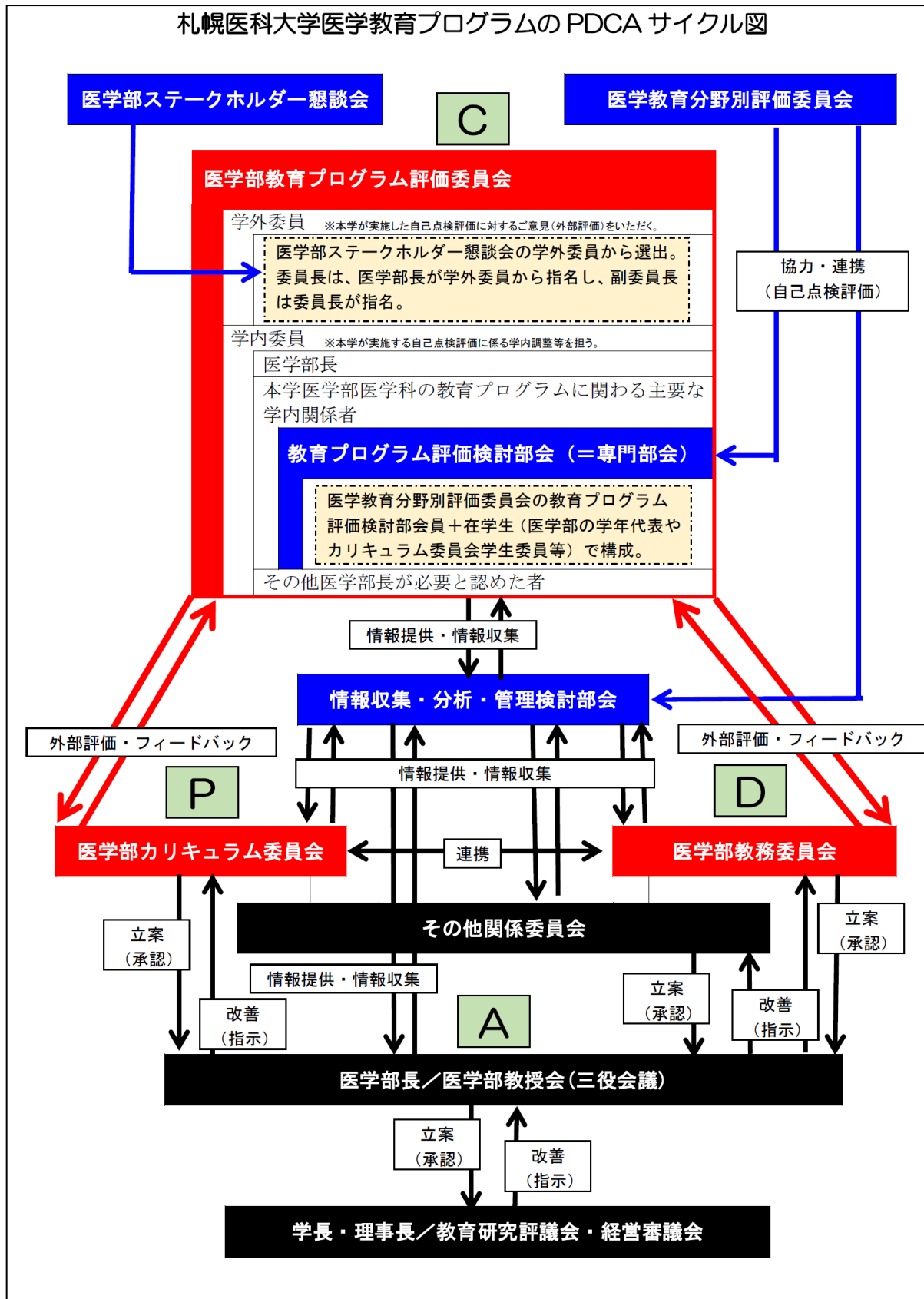
第6条 委員会に、下部組織として、医学教育プログラム評価実施に必要となる学内調整業務を分担し、円滑に実施するため、専門部会を置く。

- 2 部会の構成員は、医学部長が指名し、学長が任命する。
- 3 部会には、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(評価結果の対応)

第7条 医学部長は、委員会が実施した評価結果に基づき改善が必要と認められるものについては、その改善に努めるものとする。 2 医学部長は、評価結果に基づき関連する学内の委員会等において改善策を検討することが適当と認められる事項については、当該事項の改善策の検討を関連委員会等に付託するものとする。 (医学教育プログラム評価結果の公表) 第8条 医学部長は、医学教育プログラム評価の結果を公表するものとする。 (守秘義務) 第9条 委員会の委員は、この規程に基づく医学教育プログラム評価を行う際に知り得た事項のうち、秘すべきとされた事項は、他に漏らしてはならない。 (事務) 第10条 委員会の事務は、事務局学務課において処理する。 (その他) 第11条 この規程に定めるもののほか、医学教育プログラム評価に関し必要な事項は、医学部長が委員会に諮って定める。 附 則 1 この規程は、令和元年9月27日から施行する。 2 この規程の施行後、最初に委嘱し、又は任命する第3条第1項第2号から第4号までに掲げる委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。 附 則(令和6年4月22日規程第38号) この規程は、令和6年5月1日から施行する。
--

4. 札幌医科大学医学教育プログラムのPDCA サイクル図



Ⅲ 外部評価結果

【評価テーマ（重点課題）：教員の業績評価制度に関する評価】

※「医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.36」領域5：B5.2.1、B5.2.2

1. 医学部教員の評価項目・標準的エフォート比率等について

<優れている点>

- 評価項目の多様性：教育、研究、診療、大学運営、社会貢献の5つの大項目を設定し、教員の幅広い活動を評価対象としている点が優れています。これにより、教員の多様な貢献を公平に評価する仕組みが整っています。
- 標準的エフォート比率の柔軟性：各職位（教授、准教授、講師、助教）や所属区分（基礎、臨床、研究所）に応じた標準的エフォート比率が設定されています。また、極端なエフォート比率の設定を避けるため、所属長との相談を通じて調整できる仕組みがあります。この柔軟性によって、個々の教員の状況に応じた目標設定が可能となっています。
- 地域診療支援への配慮：特に助教において「社会貢献」のエフォート割合を高め設定することで、地域診療支援を重視している点が優れています。これにより、地域医療への貢献が評価に反映される仕組みが整っています。
- 兼務教員への配慮：兼務のある教員に対しても、所属区分（本務・兼務）に応じた標準的エフォート比率が設定されており、複数の役割を持つ教員の活動を適切に評価する仕組みが整っています。
- 公平性の確保：評価において平等原則や予断排除、守秘義務などの評価者の心得を明示し、偏りのない適正な評価を行うための指針が整備されている点が評価できます。
- 全教員を対象として、「任期制・業績評価制度WG」を設置して教員の業績評価項目の具体化、統一化等について検討している意欲的な取り組みに敬意を表します。極めて難しいシステムを構築し、試行を重ねて、実際に活用するために大変な努力をされています。
- 自己目標と実績を評価する点が優れていると思います。
- 教員個々が設定する「エフォート」において、「0%」といった極端な設定を行っている教員が見受けられたことから、「標準的エフォート比率」に、設定の趣旨を追記され、エフォート入力欄の初期値は標準的エフォートの数値を記載されたところが優れていると存じます。

<改善を要する点>

- 標準的エフォート比率の柔軟性不足：標準的エフォート比率は職位や所属区分ごとに設定されていますが、教員の個別の役割や実際の業務内容に十分対応できていない場合があります。特に兼務教員において、本務と兼務のバランスが適切に反映されていないケースがある可能性があります。
- 評価項目の見直し：評価項目は「教育」「研究」「診療」「大学運営」「社会貢献」の5つの大項目で構成されていますが、特に「研究活動」領域については評価項目や評価点の見直しが必要と考えます。特に、研究成果の質や影響力を評価する基準が曖昧である場合、評価の公平性や信頼性が損なわれる可能性があります。

- 社会貢献の評価基準の明確化：助教における「社会貢献」のエフォート割合が高めに設定されていますが、具体的な評価基準が不明確な場合、評価の公平性が損なわれる可能性があります。
- 評価基準の統一性：所属や分野が異なるため、統一的な評価基準を設けることが困難である点が課題です。また、評価者による主観的な判断が入りやすく、評価の公平性が損なわれる可能性があります。
- 任期制業績評価制度の対象となる教育と教員候補に制度の意義を継続的に周知する仕組みも必要と存じます。将来的には、教員が任期制に同意しない場合でも評価の判断対象とする方が望ましいのではないのでしょうか。
- デフォルトとしての「標準的エフォート比率」は、現在においても各自で変更できることから、「0%」といった極端な設定にならないように、最小値を設定することをご検討いただければと存じます。

＜その他＞

なし

2. 教員の業績評価制度の検証結果について

<優れている点>

- 評価結果の分布が適切：教員の業績結果の総合点の分布がほぼ正規曲線であることが確認されており、評価制度が公平に機能していることが示されています。
- エフォート設定の改善提案：教員個々が設定するエフォート（重み付け）の値が極端にならないよう、標準的エフォート比率の趣旨を追記し、初期値を標準的な数値とする改善が提案されています。
- 評価項目の統一化と柔軟性：医学部の評価項目を基本に、附属総合情報センターが組織体制に応じて文言修正を加えた評価項目を作成しています。これによって、評価項目の柔軟性と統一化を兼ね備えています。
- 業績評価の目的の明確化：業績評価が教員の能力開発や教育・研究活動の活性化を促進し、教育研究の進展を図ることを目的としている点が強調されており、制度の意義が明確です。
- データの蓄積と分析：数年にわたるデータの蓄積を通じて、評価制度の改善やインセンティブ導入の検討が進められており、長期的な視点で制度を運用している点が評価できます。
- 「エフォート（重み付け）」の極端な設定を防ぐために、標準的なエフォート比率を示しています。
- WGを設置し、教員の業績評価に対して検討していることが優れていると思います。
- 各学部等において教員が入力した業績結果の分布を多角的に詳細に分析されている点が優れていると存じます。

<改善を要する点>

- 評価不可の対象者への対応：期中採用や年度末退職などにより評価が行えなかった教員が一定数存在しています。このようなケースに対して、補完的な評価方法や特別な対応を検討することで、評価の網羅性を向上させることが求められます。
- 評価項目のさらなる精査：各活動領域の評価項目が適切かどうかを定期的に見直し、教員の多様な業績をより正確に反映できるようにする必要があります。特に、診療活動や社会貢献の評価基準について、具体性を高めることが重要です。
- データ分析の精度向上：評価結果の分布が正規曲線であることは確認されていますが、より詳細な分析を行い、評価制度が教員の能力開発や教育研究の進展にどの程度寄与しているかを定量的に示すことが求められます。
- 基礎、研究所の教員では、診療のエフォート率は低いですが、「0」よりは高いのではないのでしょうか。
- 既に指摘されておりますが、学生の評価を反映する適切な方法があればより良いのではと存じます。

<その他>

- 3以上を合格とすると、医学部の総合評価が2と1の先生がおられ、この先生には聞き取りが必要だと思います。

3. 制度全体及び今後の課題等（インセンティブ付与等）について

<優れている点>

- 客観性の確保：再任判定・業績評価が一次評価と二次評価の2段階で行われ、複数の委員会が関与することで客観性と公平性を担保しています。
- 評価結果のフィードバック：評価結果を教員に通知し、改善に向けた助言・指導を行う仕組みがあるため、教員の成長を支援する制度となっています。
- 評価結果の活用：業績評価結果が任期付き教員の再任評価や所属内での人事異動（昇任）の参考として活用される仕組みが整っています。
- 評価項目の具体化と統一化：平成30年度から検討が開始され、令和4年度には新評価項目が決定され運用が開始されている点は、評価基準の透明性と公平性を向上させる取り組みとして評価できます。
- 評価表の心得はわかりやすく、重要な注意点が記されています。
- 教員自らが目標を立てて、評価することによって、教育・研究の進展を図っていることは大変素晴らしいと思います。
- 再任について①懲戒処分の有無②勤務状況③教育の業績評価④不適切な行為の有無から総合的に判断されている点が優れていると存じます。

<改善を要する点>

- 第三者評価の導入：学生の授業評価アンケート結果など、第三者評価を反映する仕組みが必要とされています。
- 評価者の偏り防止：ハロー効果や中心化傾向、論理誤差など、評価者が陥りやすい誤りを防ぐためのさらなる教育や指導が必要です。評価者の研修を定期的実施することが求められます。
- 評価の透明性向上：教員には評価項目の結果が通知されないため、評価の透明性が不足している可能性があります。教員が自身の評価内容を詳細に知る機会を設けることが検討されるべきです。
- 業績評価の負担軽減：毎年度の業績評価が全教員を対象に行われるため、評価者や事務局の負担が大きい可能性があります。効率化のためのシステム改善や評価頻度の見直しが必要です。
- 再任判定基準の柔軟性：再任判定基準が厳格であるため、特定の状況に応じた柔軟な対応が難しい場合があります。個別事情を考慮する仕組みの導入が課題です。
- インセンティブの明示：現時点ではインセンティブに関する検討が明示されていないため、評価結果に基づく具体的な報酬やメリットを提示することで、教員のモチベーション向上につながる可能性があります。
- インセンティブについて、データ蓄積が必要であるとのことご判断はそのとおりだと思います。一方、具体的には難しいと存じますが、女性教員（特に育児中）に対して何か支援につながる配慮ができればと感じました。
- やはり講義などを含め、学生の評価は必要かと思います。（私の学生時代にはカセットテープレコーダーを流すのみで講義をしている先生がおられました。）

＜その他＞

- 長期間のデータ蓄積から、教員のキャリア支援や、将来的なキャリア形成との関連についての知見が得られると良いと思います。

【評価テーマ（重点課題）以外に関する評価】

- 入試制度についてのこれまでの検討をさらに継続し、全ての関係者がその経過や情報を共有していく必要があるのではないかと思います。
- I R データブックでは、入学生情報、在学生の学習状況、卒業生の能力発揮状況等のデータを詳細に解析されていると存じます。また保健医療学部については DP の到達度調査について詳細に分析されていると存じます。
- 改善状況報告書では、外部評価結果報告書の指摘事項に対して、取り組み内容と計画が分かりやすく記載されていると存じます。
- 年次報告書では、ステークホルダー懇談会に学生が正式な委員として任命され意見交換に積極的に参加している点、教学マネジメント課題検討ワーキンググループを新たに組織している点、学修成果に関し学生の段階的な到達度を把握するためカリキュラムマップ、アセスメントマップを臨床実習においても導入されている点などが優れていると存じます。
- 全体として外部評価の結果を全面的に開示され、学内に適切にフィードバックされ、改善につながる卓越した取り組みをされていると拝察いたします。

【その他（評価全般に対するご意見やご提案等）】

- 教育プログラム評価に関わる皆様の精力的なご努力に心から敬意を表します。なるべく多くの教員、職員の方とともに学生、卒業生にも情報を提供して下されば誠に幸いに存じます。